【日本医科大学付属病院　がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号：NSC-214

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
非小細胞肺がん	Pembrolizumab +CDDP/PEM	21日間	4コース	□ 進行/再発 □ 術後補助化学療法 ■ 術前補助化学療法 □ 放射線併用化学療法 □ その他	高	N Engl J Med 2023; 389; 491-503. <KEYNOTE-671>

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg/body 50mL	点滴静注	30分	↓																				
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓																				
④	デキサート アロカリス パロノセトロン	9.9mg 235㎎ 0.75mg/50mL	点滴静注	30分	↓																				
⑤	ペメトレキセド 生理食塩液	500mg/㎡ 100mL	点滴静注	10分	↓																				
⑥	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓																				
⑦	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																				
⑧	シスプラチン 生理食塩液	75mg/㎡ 250mL	点滴静注	60分	↓																				
⑨	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																				
	上記最大4コース施行後、外科切除を行い、続いてキイトルーダ単独投与による術後補助療法（最大13コース）施行																								

＜注意事項/備考＞

- ✓ CDDP：腎毒性軽減目的にMg投与
- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ PEMの副作用軽減目的のために、葉酸とビタミンB12を併用

  葉酸：初回投与7日以上前から1日1回0.5mgを連日経口投与（PEM中止/終了の場合は、最終投与から22日目まで継続）

  ビタミンB12：初回投与少なくとも7日前に、1回1mgを筋肉内投与（投与期間中、投与中止後22日目まで9週ごとに1回投与）

✓ Pembrolizumab：0.2または0.22μmのインラインフィルターを用いて投与